

会 議 録

1 会議名	第7回富士見市産業振興審議会
2 開催日時	平成27年2月6日（金） 午後2時00分から午後3時30分
3 出席者名 （順不同・敬称略）	猪瀬典夫会長、新井幸雄副会長、石川清委員、関知枝委員、羽石隆委員、星野光弘委員、柳田政男委員、吉田英穂委員、時田裕委員、江原吉信委員、横田昌則委員、渋谷貞男委員、小川誠委員、寺沢靖委員
4 傍聴者	0名
5 次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 審議事項</p> <p>①第2次富士見市商業活性化ビジョン（案）について</p> <p>②その他</p> <p>4 閉会</p>
6 議事内容	<p>3 審議事項</p> <p>①第2次富士見市商業活性化ビジョン（案）について</p> <p>平成27年1月6日から平成27年2月5日にかけてパブリックコメントを実施した。2名の方より計17件の意見が寄せられたため、その内容について配布資料に基づき事務局より説明を行った。</p> <p>・富士見市産業振興審議会設置条例の規程により、会長が議長となり議事を進行する。</p> <p>【質疑応答】</p>
委員	<p>・第2次商業活性化ビジョン推進のための体制づくりとして、新たに設置する市全体の商業活性化に向けたプラットフォームについてだが、ビジョン内において関係者が一堂に会する機会を年に1回程度設けると記述されている。開催頻度については具体的にどの程度を想定しているのか？</p>
事務局	<p>・開催頻度については、ビジョン内の表現に囚われず、必要に応じて商業者間で主体的に調整のうえ開催して欲しい。</p>
委員	<p>・アクションプランにおいて、「行政がやるべき事」が少ないように感じた。</p>
事務局	<p>・アクションプランにおいて、実効性を高めるためにどの主体がその事業を中心的に担っていくのかという点を明確にしている。</p> <p>・その結果として、行政が実施主体となる事業が少なく感じられるかもしれないが、市が全く関わらないという訳ではなく、他の実施主体が中心となって事業を推進する中で、市はそれをサポートしていくという考えである。</p>

